

三角山の会

SAPPORO・NISHIKO.OG & OB,.....

第3回同期会開催のお知らせ!!

昭和55年3月15日に第1回の同期会を開いてから、数えて3回目の三角山の会となりました。皆様間違いないく30代に突入され、そろそろ昔日を懐かしむ年代となりました。年一回の恒例となりました三角山の会に多数の参加を期待しています。

尚、今回は稲葉君のご好意により、気分を変えてブリアリアントな雰囲気の不二ホテルで開催することになりました。

また、年会費(2年分)千円を併せていただくため、会費が5000円となりまことに心苦しい限りです。よろしく。

日時 8月14日(土)午後6時半
 場所 札幌市中央区南2条西7丁目
 札幌不二ホテル 281-5081
 会費 5000円(含年会費1000円)

年会費の振込について

当日出席されない方は年会費の振り込みをお願いします。2年分で1000円です。会報・新名簿(計画中)を送ります。

西高創立70周年を迎える!

我が西高は、明治45年に二中として創立されて以来、今年で70周年を迎えます。これに伴い輔仁会では協賛の記念事業として、母校に寄付を行うことになりました。同封の趣意書に詳しく書いてありますが、協力できる方は下記へ送金してください

拓銀西支店 普通預金

口座名 輔仁会代表

<幸福は撃ったばかりの熱い銃>

ビートルズのホワイトアルバムに「Happiness Is A Warm Gun」という曲があります。これを和訳したのがタイトルです。幸福は撃った後の銃身の熱のようなものである、とレノンには言っています。(Lennon Remembers=ローリングストーン誌のインタビュー)

Warm Gunとは陽だまりの中に置かれた銃のぬくもりではなく、弾丸を発射した後の熱のことです。そして、その銃は暴発なんかじゃなく確かに何かを狙ったものだと思う。さらにその弾は確かに標的に命中したんだと思う。そうでなければ、銃身の熱が幸福だなんて言えないはずでしょう。それはこんな状況を想って下さい。

山奥に住んでいる一家族の所に腹を空かせた熊が襲ってきた。このままでは一家全滅である。そこで父親はライフルを手に熊と対決する。万が一急所をはずしたら自分はもちろん家族全部が殺される。だから襲いかかってくる熊をギリギリまで引きつけて、彼は家族の命運をかけて引き金を引く。見事命中、熊は地面にくずれおちる。危

機を乗り切った彼は振り返って一步一步踏みしめるように家に戻る。肩に担いだライフルから筋肉に熱が伝わってくる。この曲の僕の解釈は以上のとおりです。

幸福は何かを成し遂げた後の余韻であると言えます。この意味で、僕は熱い銃身を西高時代に何度か握ったことがあります。その熱さは記憶の中にまだ残っていて、何かのにおりに蘇ってくるのです。ちょうど今夜のように。

この文は第1回の同期会の後、会報に余白があれば埋めようと言ったものです。スペースが無くてボツになっていました。この後一ヶ月もしない内にレノンは撃たれました。Some have changed, Some forever not for better, Some have gone and Some remain<In My Life>

僕の好きな、レノンも気に入った曲